

2024年3月13日

各位

会社名 富士レビオ・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 石川 剛生

Beckman Coulter との神経疾患関連領域における提携の拡大について

当社の完全子会社である Fujirebio Diagnostics, Inc. (CEO: Monte Wiltse、所在地: 米国ペンシルバニア州マルバーン) 傘下の Fujirebio Diagnostics AB (所在地: スウェーデン メンダール、以下「FDAB」) と Beckman Coulter, Inc. (代表取締役社長: Kevin O'Reilly、本社: 米国カリフォルニア州ブレア、以下「Beckman Coulter」) は、このたび、神経疾患領域における提携の拡大に関する契約を締結しましたのでお知らせします。

FDAB と Beckman Coulter は、アルツハイマー病をはじめとする神経疾患関連領域における臨床検査薬の開発、製造等で提携する旨の契約を 2023 年に締結[※]しました。今回の提携拡大に関する契約には、血漿中 217 位リン酸化タウ蛋白 (pTau217) 検査試薬や血漿中 β アミロイド 1-42 検査試薬などが含まれます。これらの検査試薬は、Beckman Coulter の最新の高感度全自動化学発光酵素免疫測定装置「DxI 9000 Access Immunoassay Analyzer」用が開発されます。

本提携拡大は、神経疾患関連領域のバイオマーカーの開発、製造等に関する富士レビオグループの高い技術力と専門性に基づくものです。富士レビオグループは、アルツハイマー病治療の発展に寄与する血液検査用試薬等のグローバル市場での実用化・普及をめざし、本提携拡大を通じて CDMO 戦略の強化をさらに加速させてまいります。

※ [2023/7/18 付プレスリリース「Beckman Coulter との神経疾患関連領域における提携を通じた富士レビオグループの CDMO 戦略強化について」](#)

以上

<Beckman Coulter, Inc.について>

Beckman Coulter, Inc. は米国に本社を置き、世界各国でビジネスを展開するグローバルカンパニーです。臨床検査分野、ライフサイエンス分野という 2 つの分野で事業を構成しており、世界をより健康な場所にするために 11,000 人を超える社員が日々業務に取り組み、幅広い製品・サービス・ソリューションをご提供しています。

臨床検査分野の製品は、血液などから必要な情報を得ることで患者を診断、経過観察するために、世界中

の病院、医療関連施設の臨床検査技師の方々に利用していただいています。

ライフサイエンス分野の製品は、疾病や新しい治療方法の研究、複雑な生物学の問題を検討するために、バイオ関連企業、大学、専門学校などの研究者の方々に採用されており、また、粒子計測製品は製造業の皆様にも使われています。

<富士レビオグループについて>

富士レビオグループは、H.U.グループの一員であり、臨床検査薬業界のリーディングカンパニーとして価値あるテクノロジーやバイオマーカー製品を提供する研究開発型企业です。ヘルスケア市場に新たな価値を創出し人々の健康と医療の未来に貢献していくことを使命とし、富士レビオ・ホールディングス株式会社の傘下に、日本・米国・欧州を拠点としたグローバル体制を整え、お客様に高品質な製品をお届けしています。

私たちは業界をリードする大手グローバル IVD (In Vitro Diagnostics : 臨床検査薬) メーカー様と、知見やノウハウおよびコアとなる原材料を共有することにより、様々なプラットフォーム上における検査ソリューションの開発から製造、供給までを担っています。

詳細については、<https://www.fujirebio.com/>をご覧ください。

【本件に関してのお問い合わせ先】

<メディア関連の方>

広報/サステナビリティ部 広報課 TEL : 03-6279-0884 e-mail : pr@hugp.com

<投資家・アナリストの方>

IR/SR 部 TEL : 03-6279-0926 e-mail : ir@hugp.com